まえがき

なぜ，いま，私はこの研究をしているのか？　振り返ってみても，とても不思議です．

もともと，こういう研究をすることを目標にして勉強をしてきたわけではありませんでした．面白そうだな，と思うことを専門分野にこだわらずやってきて，今がある，という感じです．私は大学ではドイツ語を学びましたが，会社で実務をすることよりも，もっと好きな勉強をし続けたい，と思いました．言語の勉強が好きで，ドイツ語と日本語と英語を比較しながら研究をしているうちに，言語を使いこなす人間の能力自体に興味をもつようになりました．思えば，一つの言葉がいろいろな意味をもつような，いわゆる曖昧で感覚的な表現に興味をもつことが多かったように思います．オノマトペは，一つの表現がさまざまなものを表現するのに使われていて，いろいろな意味をもっているような，不思議な言葉に思えました．「さらさらした紙」，「さらさらした布」，「さらさらした石」，「さらさらした髪」のように，物理的には異なるものに，「さらさら」というオノマトペが使われたりします．一体，「さらさら」の意味は何なのでしょう．オノマトペは言語学や心理学分野で多くの先行研究がありました．しかし，私が感じる不思議さの解明に向けて，まだ何かできると感じました．

偶然にも，私は人間の言語の研究をしてきたにも関わらず，理工系の大学で教育研究をするようになっていました．当初，文系出身で理工系の大学で働くことの大変さはありましたが，大学院生の時

も，自分が所属している専攻以外の研究室とも交流をしてきて，専門分野へのこだわりはありませんでした．理工系の技術にも興味をもち，勉強をするうちに，文系分野で研究されていたオノマトペに，理工系の技術を応用したら新しいことができるし，私が感じる不思議の解明に近づけるのではないかという期待が膨らみました．期待していた以上に，一言のオノマトペがもつ多様な意味を数値化するシステムは，広く産業応用されるようになり，オノマトペに反映される人の認知過程の不思議さの解明にも迫ることができました．まさにオノマトペは，サイエンスとエンジニアリングの接点となったのです．

この本を手に取ってくださる方は，学生さんが多いかもしれませんが，勉強しなければいけないから勉強するのではなく，知りたいという気持ち，不思議だと思う気持ちを大切にしていただきたいです．研究者の方は，ご自分の専門分野の論文ばかりを読むのではなく，興味のおもむくまま，自由に研究をしていただきたいですし，さまざまな手法を学び使ってみることをいとわない勇気をもっていただければと思います．本書が，読者の方に新しい気づきを与えることができて，ワクワクするような感覚をもつものになることを祈っています．

※本書で解説している研究の一部は，文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 質感脳情報学（課題番号 23125510 及び 25135713）と多元質感知（課題番号 15H05922）及び基盤研究 B（課題番号 15H02766）の助成を受けたものです．

2019 年 5 月

坂本真樹